



森林レンジャーがゆく

育ててつなぐ

(87)

昨年11月18日に東京都で開催された全国育樹祭は、健全で活力ある森林を育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えるために、昭和52年から毎年秋季に開催される国民的な森林・緑の祭典です。平成30年度は東京都が開催地となり、森の子コレンジャーも一昨年から緑の少年団に加入し、活動発表、式典で花を飾るプランターカバー製作、都外の少年団に贈呈する苗木の育成を行い、式典では森の子コレンジャー4人が緑（苗木）の贈呈と皇族殿下御誘導の役割を担いました。誘導を行った2人には両殿下からお声かけがあり「どちらでどのような活動をしているのですか」「あきる野市小宮地区で、どんぐりの実りを調べたりピオトープ整備の活動をしています」などの言葉を交わしました。皇太子殿下から「五日市の山は登ったことがあります。見晴らしがいいので好きです」と、どの少年団よりも長くお声かけをいただくことができました。

今年度の第8期森の子コレンジャーは、育樹祭の準備で自然に学ぶ普段の活動が少し減ってしまいましたが、普段の活動では触れ合うことができない物や人に出会い、自然を大切に想う気持ちや大切に作る具体的な行動を知ったことで、子どもたちの世界も広がったのではと感じています。



それから、育樹祭の1週間後に森の子コレンジャー同窓会を行い、小学生から高校生までの7人に育樹祭の報告をすると、後輩が協力して様々な役割を担ったことをとても喜んでくれました。毎年行っている同窓会でのピオトープ整備は、子どもたちの「初めて会う仲間とも協力し、融合しながらも自立している姿」があります。そして、みんなと大切に育ててきたこのピオトープは昨年12月に現役に引き継がれました。

私の中で、この1年間は特に、第1期からの森の子コレンジャーみんなの顔が想い浮かぶ時間でした。育樹祭に関わった第7・8期、そして堂々と役割を果たした4人、本当にお疲れ様でした！そして第1期からのみんな、たくさんのお話を学ばせていただき、ありがとうございました！（加瀬澤）